

キリンググループプロジ

安全ミーティング視察

事故回避の注意点研修

キリンググループプロジェクト（東京都中野区）の加藤元・社長ら経営幹部は7日、夏の繁忙期に向けた全国安全週間（1〜7日）に合わせて、キリングビル横浜工場（横浜市鶴見区）で開かれた安全体感ミーティングを視察した。参加したパートナー会社の従業員は労働災害防止講習などを

受け、キリンググループプロジェクトが掲げる「Safety First」意識の徹底を再確認した。

加藤氏は「我々が届けきること、消費者はキリングの製品を口にすることができる。安全が大前提。それが『キリング品質』だ。忙しい時こそ、一拍置いてから作業をして欲しい。会社に帰ったら、本日の経験を仲間にも伝えて欲しい」と呼び掛けた。

安全体感ミーティングは「私たちは立場・役割を超え、安全第一に努めます」という安全宣言でスタート。

パートナー会社のドライバーらは、フォークリフトやブラッター

加藤社長（左から2人目）らが安全宣言



の前進時の後輪・カウンターのオーバーハング、後進時の爪の外ふれ・内輪差などを実地で見学、事故を避けるための注意点を改めて研修した。

また、落下衝撃測定装置を使い、1・2階の高さから落下した際の衝撃が自重の10〜20倍にまで大きくなることや、保護具の正しい着用方法について講習を受けた。

同社は、毎年7月ごろ、労働防止活動の推進を図り、安全に対する意識と職場の安全活動を一層充実させるため、全国安全週間活動を展開。今年6月には、配送先での作業や運行で注意すべき点を記載したハザードマップの見直しに一斉着手するなどし、「キリング品質」の維持・向上に努めている。

（高橋朋宏）